

# IPtalk 研修を行いました



8月1日(木)と8月2日(金)の2日間、「IPtalk」というソフトについて研修を行いました。チャットのようなソフトで、文章を入力するとその文章が即座に画面に表示され、その場で共有することができます。研修の目的は、「聴覚障がいを持った方など、聞くことに課題を持った人が会議等で一定の情報をリアルタイムで得ることができる（情報保障される）」です。IPtalk を使ってみるだけではなく、イヤーマフ等をつけて会話が聞こえないようにして、IPtalk に表示される情報だけで会話の状況がわかったか？わからなかったとしたら、どう工夫する必要があるかなど、自分が当事者になる疑似体験を通して意見交換を行いました。「区切りを意識しながらしゃべる」「最初に簡潔に要点だけをしゃべる」など、様々な意見がでました。

生徒に対してだけでなく、教員同士でもお互いのことを理解・尊重できるような職場を目指して、これからも学んでいきたいと思えます。